



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <https://www.kitamirc.jp>

2025~2026年度国際ロータリーテーマ

第3543回例会・2026年3月18日

本日のプログラム

「職場移動例会」

UNITE
FOR
GOOD

R.I. 会長 フランチェスコ・アレツツォ

第3542回例会（3月11日）の記録

ロータリーソング 我等の生業**ゲスト** 北見市商工観光推進室 ふるさと納税推進担当 係長 関 谷 剛 様
北見市企画財政部企画課 係長 尾 崎 美 織 様**会長挨拶** 小林会長

皆さん、こんにちは。まず初めに、3月4日に川人会員の奥様のお母様のご逝去され、クラブからご香典を出しております。心からご冥福をお祈り申し上げます。本日は市役所の方がゲストで来られますので、北見市についてお話をさせていただきます。平成18年3月5日に、北見市、端野町、常呂町、留辺蘂町の1市3町が合併し、新しい北見市が誕生しました。それから20年の月日が流れましたが、それぞれの地域が素晴らしい歴史を持ち、文化や産業の特色を大切にしながら共に歩んできたと思っております。合併後は石北峠からオホーツク海まで距離にして約110km、日本一大きい市と言われておりました。私は合併10周年の時に記念式典の実行委員長を務めさせていただきました。ノーザンアーク駐車場の特設会場にて「110kmの笑顔でつなぐリレー」という企画を行いました。また、北見の食の魅力を発信するため、10軒程のブースを設けて特産品の販売も行いました。来場者数は約2,000人を想定していましたが、予想を超える7,000人の方が来場され大いに賑わったことを思い出しました。今後も北見市の魅力を発信し続け、若い人達に魅力ある地域となることを強く願っております。中東情勢が非常に不安定な状態になっています。明日からガソリンが相当値上がりするということですので、例会終了後に給油していただければと思います。また、3月で岡本会員と中地会員が転勤されますので、ご挨拶をいただきたいと思っております。

【岡本 玄吾 会員】

皆さん色々とお世話になりました。北見での勤務は2回目にして、前回北見を去る時ももう一度来たいと思っておりましたが、今回も更にそう思っております。北見RCではゴルフにも交えていただき、どうもありがとうございました。今度来る時にはもう少し上手くなって皆さんとプレーしたいと思っております。4月からは札幌へ行き、6月末より北海道新聞 Hot Media という、編集プロダクションとして本体のお手伝いをする会社の社長となります。ここにいらっしゃる皆さんのような素晴らしい経営者になれるよう頑張りたいと思っております。どうもありがとうございました。

【中地 大介 会員】

私は3年間北見にいましたが、その前が釧路、中標津、旭川に赴任となり、道東方面の最後に北見に来ました。妻が佐呂間高校の出身であったり、非常にゆかりのある地でいつか来たいと思っていましたが、実際に住んでみて本当に良い街だと思いました。その中で、銀行の建て替えのタイミングで携わらせていただき、自分の人生勉強として非常に成長させていただきました。ロータリークラブに所属するのは中標津に続き2回目でしたが、クラブによって全然違うというの勉強になりました。歴史のあるクラブに少しでも携わらせていただいたことは、非常に良い経験となりました。次に行くのは本店の事業戦略部という部署で、各支店、特に地方店舗を廻って指導やお手伝いをする部署になります。また北見に来る機会もあると思っておりますので、私の顔を忘れないでいただき、今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

幹事報告 高橋幹事

- 3月12日(木) 18時30分より、現・新の理事役員会を四季千酔にて開催しますので、対象の皆様はご参加よろしくお願いいたします。
- 3月18日(水) 職場移動例会となりますので、北見工業大学にお集まり下さい。

ニコニコBOX

富田会員～北見ロータリークラブの皆さま、大変お世話になりました。

岡村会員～無事、娘が大学に合格しました。殺伐とした家庭の空気がやっと良くなりました。

安酸会員～昨日、無事に学位授与式を挙行することが出来ました。卒業生は秋季卒業生を含めて110名、大学院修士課程修了生7名、博士課程修了生3名でした。学部学生の定員割れが続き、まだまだ大変な状況ではありますが、卒業生たちの嬉しそうな顔を見ることが出来て、ありがたい限りでした。今後の看護師人生に幸多かれと願うばかりです。

宮島会員～JR北海道が1月下旬～3月上旬に釧網本線の網走駅～知床斜里駅間で運行する冬季限定の観光列車「流氷物語」。オホーツク海沿岸を走行し、車窓から流氷の絶景を一望できる列車で、地元の案内ボランティアによるガイドやグッズ販売も行われる人気列車です。3月13日(金)午後7時30分から放送される北海道道では、このボランティアの方々への地域活性化に奮闘する姿を追いました。鉄ちゃんのあなた！そうでない方も是非、番組をご視聴ください。次に、北海道のさわやかな風景や動植物の四季折々の営みを心地よい音楽とナレーションでお届けする、NHK北海道が制作する番組「さわやか自然百景」が今年1月で放送1000回を迎えました。この記念としてNHK北見放送局では会館イベントを開催します。自然番組の取材に欠かせない撮影用グッズや制作ディレクターの秘話などをパネル展示します。ご家族やご友人とお誘いあわせて、ご来館ください！

委員会報告 川人会員

会長挨拶にもありましたとおり、妻の母が急逝し、葬儀に際しまして皆様からのお心遣い誠にありがとうございます。くも膜下出血で本当に突然亡くなってしまいました。妻も子も大変疲弊しておりますので、ケアをしながら引き続き頑張っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ゲスト卓話 「北見市のふるさと納税」

北見市商工観光推進室 ふるさと納税推進担当 係長 関谷 剛 様
北見市企画財政部企画課 係長 尾崎 美織 様



北見市企画財政部企画課の尾崎と申します。本日は企業版ふるさと納税についてご紹介させていただきます。返礼品がもらえる、ふるさと納税個人版につきましては皆さんご存知の方も多いかと思いますが、本日は企業版ふるさと納税のポイントや、企業の皆様にとってのメリット・デメリット、手続きの流れや寄付の実績などについてご説明いたします。

企業版ふるさと納税の正式名称は地方創生応援税制といい、地方公共団体が行う地方創生プロジェクトに志がある企業の寄付を呼び込むことで、新たな民間資金の流れを巻き起こし、地方創生の取り組みを進化させていくことを狙いとして、平成28年度に創設された制度です。北見市では、市が地方創生の推進のために地方創生プロジェクトを策定し、取り組みを進めております。第3期北見市地方創生総合戦略にあります各種事業に対し、企業の皆様から寄付を行っていただいた場合に、税制上の優遇措置が受けられる仕組みとなっております。この制度では、企業が寄付を活用しやすいように1回あたり10万円以上の寄付が対象となります。また、北見市が寄付を受けることができるのは、北見市内に本社がある、つまり地方税法における主たる事務所または事業所が北見市内にある法人、そして青色申告書を提出している法人が対象となります。寄付を行うことの代償として、経済的な利益を受け取ることは禁止されております。例えば、寄付の見返りとして補助金を受け取ることや、入札の便宜を図ること、商品券など換金性が高い商品を受け取ることが禁止されております。一方、市の広報誌やホームページ上でご寄付いただいた企業名を紹介したり、公正なプロセスを経た上で市の契約は認められています。企業の皆様にとってのメリットは、企業版ふるさと納税を活用した寄付の場合は、寄付額の約6割について法人関係税より税額控除を受けられることです。通常、企業が地方公共団体に寄付を行うと、約3割の税金が軽減されますので、その効果と合わせると最大で寄付額の約9割が軽減されることとなり、実質的な企業の負担は約1割まで圧縮されます。また、寄付を通じて地方創生プロジェクトを応援することで、企業としてのPR効果やCSR推進が期待できたり、市と企業との間で新たなパートナーシップの構築の機会が創出されます。企業の皆様にとってのデメリットは、寄付金を企業のキャッシュから支出する必要があることです。しかし、先程ご説明しましたとおり税額控除の対象となるため、法人関係税の負担が抑えられ、企業の規模や予算に応じた柔軟な寄付が可能となります。また、個人版のふるさと納税とは異なり、返礼品の受け取りや経済的な利益の享受はできませんが、企業のビジョンやミッションに沿った寄付を行うことで、ブランド力の向上につながるものと考えています。北見市へ企業版ふるさと納税をしていただいた場合は、市のホームページ上で企業名及び寄付額の公表、企業ホームページへのリンク設定を行っているほか、寄付額に応じて市長より感謝状をお渡しする機会を設けています。北見市では令和2年度から企業版ふるさと納税を活用しており、令和8年2月末時点で総額3億4,585万円のご寄付をいただいております。今年度は、本日より10月31日まで北海道ガス様からもご寄付をいただきました。いただきましたご寄付につきましては、カーリングホールを活用したまちづくりや、ふるさとテレワークの推進、子育て支援等の事業に活用させていただきます。北見市では大規模な財政健全化に取り組んでおり、その一環として歳入を増やす取り組みとして企業版ふるさと納税にも力を入れております。本社が北見市内の企業様で本制度の対象となる場合には、是非北見市へのご寄付をお願いいたします。また、お取引先や関連企業様などへの呼びかけにも協力いただければと思います。以上で企業版ふるさと納税に関する説明を終わります。ご清聴ありがとうございました。

皆様、こんにちは。私は、北見市商工観光部観光振興室ふるさと納税推進担当係長の関谷と申します。私の方からは「ふるさと納税で地域や企業を元気に」ということで、個人版ふるさと納税についてご説明したいと思いますので、よろしくお願いたします。今回はふるさと納税の制度についてと、ふるさと納税を活用してどのように地域を活性化させられるかというテーマでお話させていただきます。実際にふるさと納税をされたことがある方、返礼品を提供していただいている事業者様もいらっしゃるかと思いますが、ふるさと納税とは寄付額のうち2千円のみ自己負担となり、残りの金額を翌年の住民税や所得税の控除に使うことができ、さらに返礼品という形でお品がもらえる制度となっております。どれくらい控除額が使えるか判断するのが12月頃なので、どうしても寄付は12月に集中してきます。確定申告をされる方は、自治体から発行される寄付受領証明書が必要となり、それを確定申告の際に提出することになります。その他にワンストップ特例申請といった、マイナンバーカードで申請することにより、電子上で完結することができる制度もあります。



次に、ふるさと納税の制度が出来た背景についてご説明します。例えば北見で育った子ども達が大きくなって都市圏で生活するようになってしまうと、育ってきた自治体で医療費や教育費を負担してきたにも関わらず、地元へ税金として落とされないといいことが起きます。そこで、ふるさと納税は、育ててくれた故郷に自分の意思で何か還元できないかということから生まれた制度であります。寄付をいただいた方に対し返礼品を送るかどうかは、実は各自自治体での判断となっております。返礼品のルールとして、寄付金額の3割以内のお品であること、さらに地場産品基準というものがあり、地元へ根付いた返礼品であることが必要となります。北見の場合ですと、例えばオニオンスープのように北見の玉ねぎを使った加工品や、北見市内で加工しているというものが返礼品になります。他には、お墓の清掃サービスや家屋の撤去解体費用といった区域内で提供される業務も返礼品にすることができます。最近のふるさと納税は、令和5年度の統計によると全国で一兆円規模を超えてくるような市場になってきました。そのため、国が考えた官製通販だとか、中間業者の中抜き問題といった賛否両論がある制度になってきました。ふるさと納税と聞くと返礼品として贅沢品をもらおうといったイメージがありましたが、最近では人気のある返礼品は贅沢品と日常生活品の二極化してきております。北見の返礼品の中で人気があるのは、ホタテやカニ、カキといった海産物です。ホタテを返礼品としている自治体の中から北見を選んでいただかないと寄付を募ることができないので、写真の見映えやお得感などで勝負していかなければなりません。また、去年は暑さの影響で玉ねぎのサイズが小ぶりでしたが、そのような玉ねぎも訳ありという形で出品したところ、全国から多くの寄付をいただくことができました。このように工夫もしながら寄付を募っている状況です。昨年の9月からは純金の返礼品を展開し始めたところ、東京や大阪、福岡の富裕層の方から寄付を賜っております。北見市やオホーツク地区は、今後人口の減少が見込まれています。それに伴い、北見市内の全職種の働き手も約7割～9割程度まで減少するのではないかと推計されています。この中で喫緊の課題になってくるのは人材の確保だったり、人口が減るといことは、企業からすると顧客も減ってしまうということです。そのような中で、このふるさと納税を通じて、北見市や各企業の取り組みを全国に向けて発信していくことができるのではないかと考えています。返礼品がネットショッピング感覚になってしまっている状況ですが、その中でも北見の玉ねぎやホタテの質でファンを作っていくという道もあります。私がふるさと納税の担当になった時、この制度はいつまで続くのだろうと思いました。もしこの制度がなくなってしまった時に何が残るのか考えると、返礼品目的で寄付を稼ぐことだけ意識してしまうと、おそらく何も残りません。北見のこの返礼品だから寄付をしたとか、北見に遊びに行った経験があるから寄付したいというファン層を獲得していかないと、どんどん北見に足を運んでくれる方が減ってしまうのではないかと考えております。ふるさと納税を通じて、シティブロモーションや企業の皆様のお力添えで北見市を活性化させながらファンを作っていく道も考えています。最後になりますが、事業者様がふるさと納税を通じて返礼品やサービスを出品する際に発生する掲載手数料ですが、こちらは北見市が負担します。返礼品を送る際も、送料も北見市が負担します。ふるさと納税のポータルサイトに事業所様の取り組みを載せるような事も実は無料で出来たりしますので、サービスや返礼品のアイデアがありましたら是非ご相談いただき、魅力的な返礼品を開発できるように一緒に考えていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。ご清聴ありがとうございました。

会員の輪

カナダでの短期留学を終えた娘が、京都のアパートへ戻らず、急遽北見の実家へ帰省してきました。帰宅した私を待っていたのは娘の大号泣。「そんなに我が家が恋しかったのか」と父としては内心ニヤリとしながら理由を聞くと、なんと「カナダのホストマザーが恋しくて」とのこと。父としては少々複雑ですが、それほど慕える人に出会えたのは何より。一生の財産に（佐々木 雄一）

出席報告

出席報告	例会日	会員総数	出席免除者数	出席者数	出席免除者の出席数	事前マークアップ	事後マークアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A} \times 100$
本日	3/11	64	5	39	2	6	—	45	73.770%

【次回3月25日】「Passion Talk」

2025～2026年度 北見R.C.活動方針

「クラブに革新を 笑顔で紡ぐ奉仕の輪」 ～行動しようRotarianとして～

2025～2026年度 北見RC

●会長／小林 和真

●幹事／高橋 雄太

●週報編集／佐々木朋志

ロータリーとは

「人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守る事を奨励し、且つ世界における親善と平和の確立に寄与する事を旨とした事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である」と正式に定義されています。